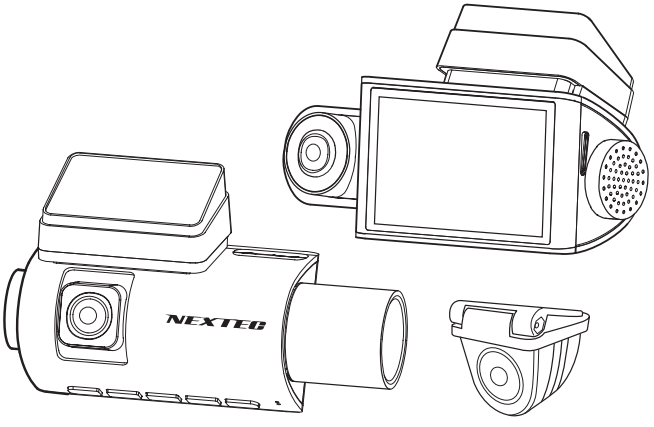
NEXTEC

３カメラ・ドライブレコーダー

NX-DR303DRT

取扱説明書

保 証 書 付



このたびは NX-DR303DRT をお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ正しくご使用ください。
お読みになった後は、大切に保管していただき、その都度ご参照ください。

本体の電源は DC5V です。必ず、付属のカー電源コードを使用してください。

目次

必ずお読みください

安全についてのお願い・ご注意 3
免責について 4
個人情報の保護について 4
microSD/SDHC カードに関するご注意 4
LED 式信号機について 5
パソコンで映像の再生をする場合の動作環境 5
もしも事故が起きてしまったら 5

準備する

同梱品を確かめる 6
各部の名称 7

設置と接続

カー電源コードの接続 8
車へ取り付ける 10
1. 本体 (前方カメラ / 車内カメラ) の取り付け 11
2. 後方カメラ部の取付 12
3. カー電源プラグの接続 14
4. ボタン操作による前方カメラ / 車内カメラ / 後方カメラの表示切り替え 14
5. ガイドラインコードの接続 15

はじめにすること

1.SD カードを挿入する 16
2. 本体の電源を入れる 17
3. 日時を確認する 17
4.SD カードのフォーマット 18
5. パーキングモードの設定 20

撮る

録画を開始する 22
1. 常時録画 23
2. イベント録画 (G センサー / 手動) 23
3. 駐車録画 (録画の開始と終了) 23
録画を停止する (駐車録画以外) 24

見る

本体で見る 25
パソコンで見る (SD カード) 28
パソコンで見る (専用ビューアー画面で見る) 30

GPS 機能を使う

速度超過警報 32

各種設定

設定手順 33
メニュー項目 34
機能設定項目 35
カメラ選択 38

その他

記録時間の目安 39
本体ソフトウェアのアップデート 39

故障かな？と思ったら 40

主な仕様 42

保証規定 / 保証書 .... 裏表紙

必ずお読みください

安全についてのお願い・ご注意

本機を安全にご使用いただくには、正しい使い方と安全に関する注意事項をお守りいただくことが必要です。本書では、誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して説明しています。

⚠警告	この表示の欄を守らないと火災・感電及びその他の危険により死亡や大けがの原因となります。
⚠注意	注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

⚠ 警告

■運転の妨げにならない場所に取り付ける

本機は、運転の妨げにならないように、取り付けてください。また、取り付ける際に、本機が落下しないように十分ご注意ください。万が一落下した場合でも、運転の支障にならない場所をお選びください。

■電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

■本機を濡らさない

水につけたり、水をかけたりしないでください。また、濡れた手で操作しないでください。感電、故障の原因になります。

■車を運転中に本機を操作しない

車を運転中に本機を操作することは交通事故の原因になります。運転中の操作は絶対に避け、安全運転を心がけてください。

■ケースは絶対にあけないでください

本機は精密部品を多数搭載しています。分解や改造を加えますと故障や感電の原因となります。

■内部に異物を入れない

内部に異物が入ると火災や感電の原因となります。

■異常があるときはすぐ使用をやめる

発熱、発煙、異臭を感じた時は、直ちに使用を中止して、電源プラグを本体から抜いてください。そのまま使用されますと火災や感電の原因になります。お客様ご自身での修理は絶対に避けてください。

⚠ 注意

■衝撃や強い振動を加えない

使用している部品が壊れ故障の原因になります。

■動作温度範囲内で使用する

本機の動作温度範囲 (P.42) 以外で使用すると内部の部品に悪影響を与えたり、誤作動の原因となります。特に夏期や直射日光に当たると予想以上に高温になりますので十分ご注意ください。

■高温時の取り扱いに注意する

本機に直射日光が当たっている状態など本機がかなり高温になっているときがありますので触れる際には、十分にご注意ください。

■お手入れの際、電源プラグを抜く

お手入れの際は必ず、電源プラグを本体から抜いてください。また、お手入れには柔らかい布またはティッシュペーパーを使用し、シンナー、ベンジン、アルコール類を使用しないでください。使用するとケースが変形するおそれがあります。

■日本国内で使用する

本機の仕様は日本国内向けとなっています。

■取り付け場所を十分に考慮する

(P. 10)

必ずお読みください

免責について

■免責について

弊社はいかなる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。
1. 本商品に関連して直接または間接に発生した損害・被害、または結果的損害・被害
2. お客様の誤使用や不注意による本製品の障害または破損など
3. お客様による本商品の分解、修理または改造が行われた場合、それに起因するかどうかにかかわらず、発生した一切の故障または不具合
4. お客様による映像（記録を含む）が何らかの理由により公となりまたは目的外に使用され、その結果、被写体となった個人または団体などによるプライバシー侵害などを理由とするいかなる賠償請求、クレームなど
5. 記録した情報内容が何らかの原因により、消失してしまうこと

個人情報の保護について

■個人情報の保護について

本機を使用したシステムで撮影された映像で個人が特定できる情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた「個人情報」に該当します。法律に従って、映像情報を適正にお取り扱いください。

microSD/SDHC カードに関するご注意

本説明書では、特にことわりがない場合、「microSD/SDHC カード」を「SD カード」と表記させていただきます。

※ SD カードは消耗品です。
SD カードは書き換え回数に上限があり、書き替えを繰り返すことで正常に保存ができなくなり、データを破損して読み込みもできなくなります。
※ SD カードは消耗品につき初期故障 (使用開始後 10 日間) のみ保証します。
※本機以外で使用した SD カードを使用する場合は、必ず SD アソシエーションの SD フォーマッターでフォーマットを行ってください。(P.5 参照)
但し、SD カードによってはフォーマットを行ってもエラーが出る場合がありますが、弊社では一切の責任を負いません。
※付属品以外の SD カードの動作保証は致しかねます。

重要！

SD カードは 1 ～ 2 週間を目安に定期的なフォーマットを実施してください。フォーマットを全くしないでご使用し、事故映像等が記録されない場合、弊社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

※ SD カードが寿命を迎えている場合、または正常に記録されない場合の動作例
・記録が開始されない
・“SD カードエラー” が出る
・SD カードが挿入されていても “ SD カードが挿入されていません。” と表示される

フォーマットをしても異常が起こる・フォーマットできないなどの症状が出た場合は、SD カードを交換してください。
SD カードの寿命は概ね 3 ヶ月から 1 年程度です。（ドライブレコーダーのご使用状況（ご使用時間）により SD カードの寿命は変動します。この期間、また本製品の保証期間でカードの寿命を保証するものではありません）
また 1 年を経過したものはたとえ問題が無くても交換されることをお勧めします。

フォーマットの方法

●パソコンをお持ちの方
SD カードをパソコンで読み取れるかどうか・動画の再生ができるかどうかを確認しフォーマットを行ってください。SD カードのフォーマットは、SD アソシエーションのウェブサイトから SD フォーマッターをダウンロード・インストールして行ってください。

●パソコンをお持ちでない方
ドライブレコーダーの再生モードで記録した映像を再生して問題が無いことを確認してください。その後、本体のメニューにフォーマットの項目がありますので、フォーマットを行ってください。(P.18 参照)

LED 式信号機について

LED 式信号機は LED が高速で点滅しているため、記録映像で信号機が点滅しているように見える場合があります。

パソコンで映像の再生をする場合の動作環境

・Windows 8.1/10 (32/64bit) がインストールされたパソコン。
・Windows Media Player 等の H.264 動画再生ソフトがインストールされていること。(再生ソフトに関するお問い合わせはお受けできません)
・USB2.0 インターフェースもしくは microSD/SDHC カードリーダを備えていること。
・それぞれの OS の推奨環境以上で動画再生でも十分な能力を持っていること。

重要 !

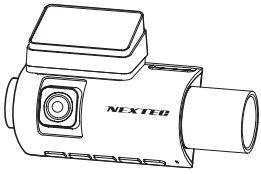
もしも事故が起きてしまったら・・・

記録を停止しない限り、撮影を続けるため事故時の映像が上書きされてしまう場合があります。必ず撮影を停止し、本機から SD カードを取り出してケースなどで保護して保管してください。

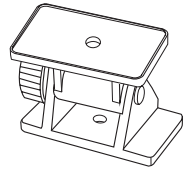
準備する

同梱品を確かめる

お買い上げいただいた製品は次の品目から構成されています。
内容をご確認ください。

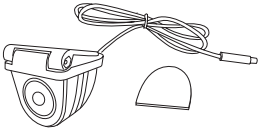


●本体：前方カメラ / 車内カメラ (1 台)

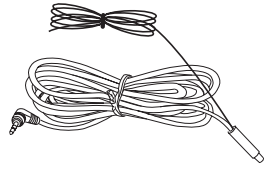


●本体取付ステー (1 個)

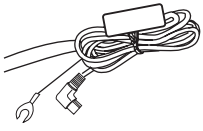
●ステー固定用両面テープ (2 枚)



●防水後方カメラ〈ケーブル長：約 0.5 m〉
(1 台)
後方カメラ固定用両面テープ (1 枚)



●後方カメラ接続ケーブル〈約 15 m〉(1 本)
※後方カメラガイドライン用線〈約 1.2 m〉



●カー電源コード〈約 4m〉 (1 本)

●エレクトロタップ (2 個)

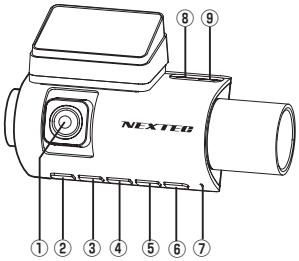
●取扱説明書〈本冊子〉
保証書付 (1 冊)

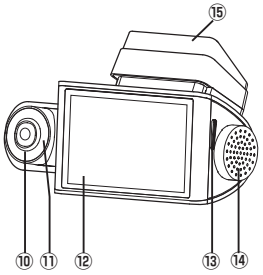
● 32GB microSDHC カード (1 枚)

※本文のイラストはイメージです。実際と異なる場合があります。

各部の名称

■本体 (前方カメラ / 車内カメラ部)





① 前方カメラ
前方用カメラです。手動で上下約 40 度の範囲内で角度調整が可能です。

② OK ボタン
録画中：手動録画開始・停止。設定時の確定。
再生時：再生・一時停止

③ ▼ (DOWN) ボタン
録画中 / 録画停止時:音声録音 ON/OFF 切り替え。
設定時の▼（DOWN)。
再生時:再生速度切り替え(早送り２倍、４倍、８倍)

④ ⏻ ボタン
録画中 / 録画停止時：画面表示切り替え。
（P.14 参照）
再生ファイル選択時：カメラ切り替え。
３秒長押しで電源 OFF/ON。

⑤ ▲ (UP) ボタン
録画中：録画停止・開始切り替え。
設定時の▲（UP)。
再生時:再生速度切り替え(早戻し２倍、４倍、８倍)

⑥ M ボタン
録画中 / 録画停止時 : メニュー画面。
設定時、再生時 : 戻る。

⑦ マイク
音声を録音するためのマイクです。設定で OFF/ON が可能です。

⑧後方カメラ接続端子
後方カメラ接続ケーブルのプラグを接続します。

⑨電源端子 (miniUSB)
電源入力は DC5V です。必ず付属のカー電源コードを接続してください。

⑩車内カメラ
車内用カメラです。手動で約 300 度 の範囲内で角度調整が可能です。

⑪赤外線 LED（６灯）
暗くなると自動的に点灯し、車内を撮影でき ます。照射距離は約 5 m。明るくなると自動的に消灯します。
※点灯時、映像が白黒になります。

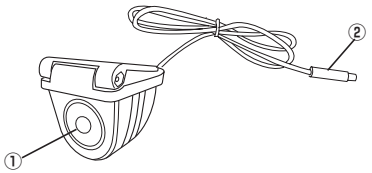
⑫ディスプレイ

⑬ microSD カード挿入部
microSD カードを挿入します。(最大 32GB)

⑭スピーカー
操作音や速度アラーム音が鳴ります。設定で OFF/ON が可能です。

⑮ GPS ユニット
スライドで脱着可能。

■防水後方カメラ部



① レンズ
② 接続ケーブル
後方カメラ接続ケーブルのコネクター部と接続します。(ケーブル長：約 0.5 m)

設置と接続

お願い

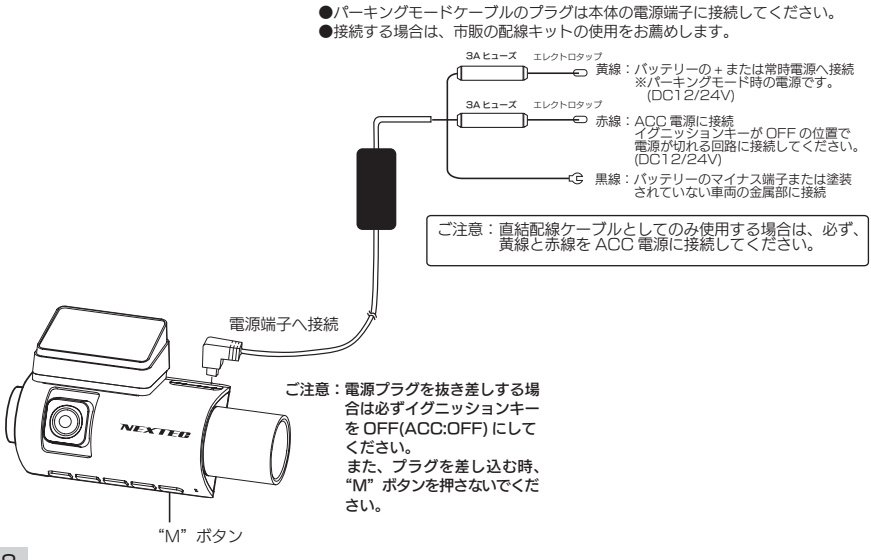
■配線・取り付け / 取り外しは専門技術者に依頼してください。取り付けと配線は専門的な技術と経験が必要です。安全のため、お買い上げの販売店にご依頼ください。
■正式に取り付ける前に仮止め、仮設置をし基本動作や配線が正常にできることを確認してください。また、車の電装品が正常に動作することも確認してください。
■配線・取り付け作業中は、必ずバッテリーのマイナス端子を外してください。
ただし、バックアップが必要な機器が取り付けられている場合はバッテリーのマイナス端子を外さないでください。この場合は専門店などへご相談ください。

カー電源コードの接続

●本製品はカー電源コードを常時電源、ACC 電源に接続することにより、駐車時の録画をタイムラプス録画で記録するため、長時間の記録が可能です。
●駐車時録画の必要のない場合は常時電源線 (黄色) を ACC 電源に接続してください。
●パーキングモードを機能させるには設定が必要となります。(P.20 参照)

■接続図

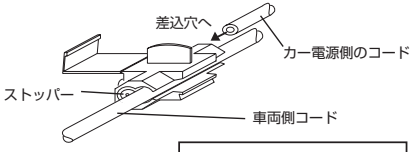
●カー電源コードは本体の電源端子に接続してください。



■エレクトロタップを使った接続方法

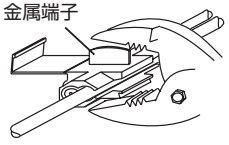
●エレクトロタップを使った接続
GND(黒線) 以外は付属のエレクトロタップを使って接続してください。

1. 車両側コードをエレクトロタップ側面よりはめ込み、カー電源コード側のコードを差し込み穴からストッパーまで挿入します。



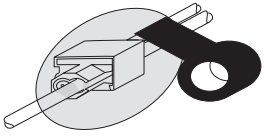
エレクトロタップの対応線材は、
断面積0.2～0.8mm²
(AWG#18～#24)です。

2. プライヤー等で金属端子を完全に押し込み、接続後にカバーを倒しロックします。



3. 最後に市販の絶縁テープを巻いて接続部を保護します。

グレーの部分全体にテープを巻いてください



設置と接続

車へ取り付ける

取り付け上のご注意

本製品は道路運送車両法・保安基準第 29 条の前面ガラス装着規制対象外です。

但し、設置場所はフロントウィンドウの開口部上端から下方向に 1/5 以内の場所に限ります。装着後運転の邪魔にならないか、ルームミラーの操作の妨げにならないか等十分に確認してから使用してください。

■車を平らで安全な場所に駐車して作業をしてください。

■配線後のコードが運転の支障にならないように固定してください。

■道路運送車両法・保安基準に適合するように、フロントガラスに取り付けてください。

■取り付け位置はフロントウィンドウの開口部上端から上下方向に 1/5 以内の場所、もしくは運転席側から見てルームミラーに隠れる場所に取り付けをしてください。

■レンズ部分がワイパーでふき取れる部分になる位置にくるよう取り付けください。

■点検シールや車検標章などと重ならないようにしてください。

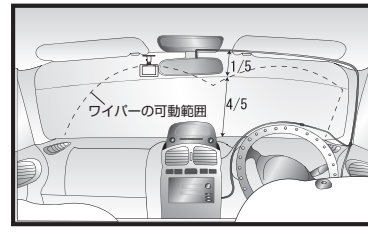
■両面テープを貼り付ける際、接着面の汚れや湿気をよく取り除いてから行ってください。特に湿度の高い日はデフロスター（曇り止め）等で湿度を下げてから行ってください。また最初にセロテープ等などで仮止めをしてから貼ることをおすすめします。

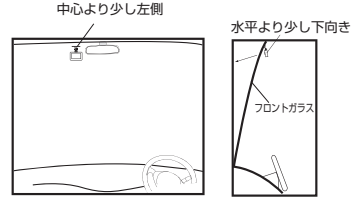
■貼り付け直後は十分な接着力が得られません。テープ本来の接着力を得るには 24 時間程度必要です。

■接着力が高いため、はがす場合には接着面を傷める可能性があります。

■あらかじめモニターで撮影範囲を確認の上、取り付けしてください。

■ルームミラーの操作の妨げにならない位置に取り付けてください。





＜トラックの場合の取り付け参考例＞

■前方がしっかりと見える場所に取り付けてください。

⚠注意

カーナビゲーション、ETC、地デジチューナーやそれらのアンテナなど電波を受信する機器から離して取り付けてください。

■正式に取り付ける前に仮止め、仮設置をし基本動作や配線が正常にできることを確認してください。また、車の電装品が正常に動作することも確認してください。尚、接続する場所によっては専門的な技術と経験が必要な場合があります。お買い上げの販売店にご相談してください。

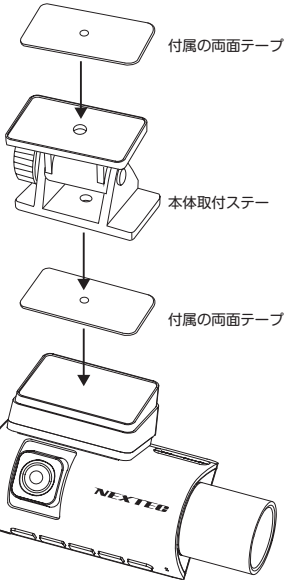
1. 本体（前方カメラ / 車内カメラ部）の取り付け

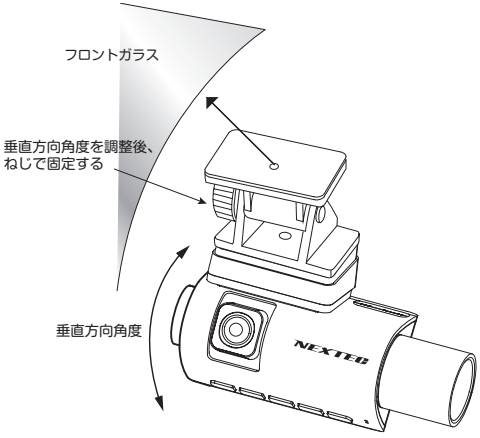
1. 付属の両面テープを本体に貼り、本体取付ステーを向きに注意して図のように両面テープに貼る

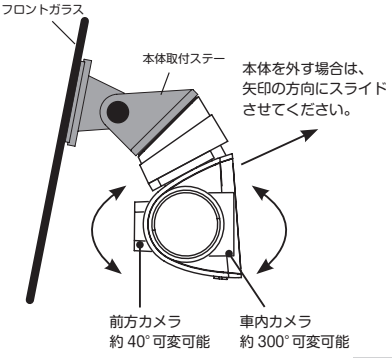
2. もう一枚の両面テープを本体取付ステーに貼る

3. あらかじめ取付位置を決めて、フロントガラスに貼る

4. 垂直方向の角度を調整後、ねじで固定します。







設置と接続

2. 後方カメラ部の取り付け

車外に取り付けする場合

取付位置に関してのご注意

■ 2009 年 1 月 1 日以降に製造された乗車定員 10 人未満の車両の外装技術基準の適用が、2017 年 4 月 1 日より開始されました。

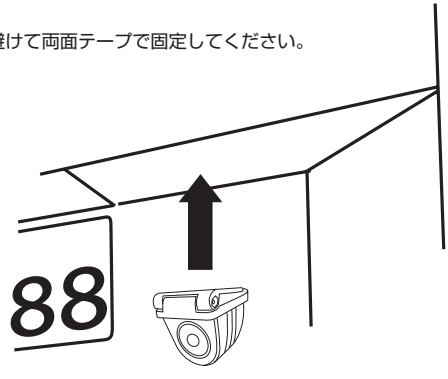
■ 自動車と人との衝突、接触時に人が負傷するおそれのある突起物が外装にあってはいけないことが規定されています。
但し、適応外となる部位があります。
・高さ 2 m以上の部分
・フロアラインより下の部分
・直径 100 mmの球体が接触しない部分
・直径 100 mmの球体が突起物と接触する部分の曲率半径が 2.5mm 以上である
等　※詳細は国土交通省のホームページを参照ください。

取り付ける前に

■ 取付面の汚れ、湿気をしっかりと除去してください。
■ あらかじめ仮接続、仮止めをし、モニターで確認しながら取り付ける位置を決めてください。
■ 気温が低いとき (20℃以下) は、接着面を暖めてから貼り付けしてください。
■ 貼り付けたあと、24 時間以内は水をかけたり、無理な力を加えないでください。

● **推奨取付位置**

ナンバープレート近くのランプ等を避けて両面テープで固定してください。
コードを車内に引き込んでください。

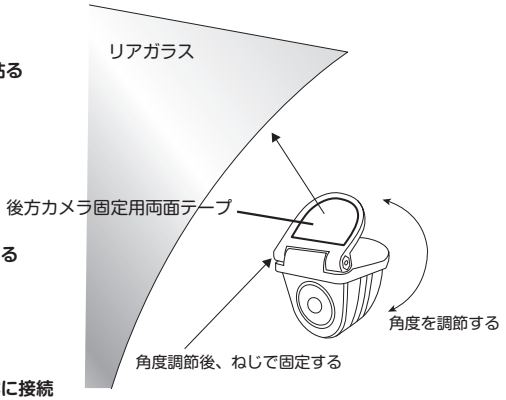


車内リアガラスに取り付けする場合

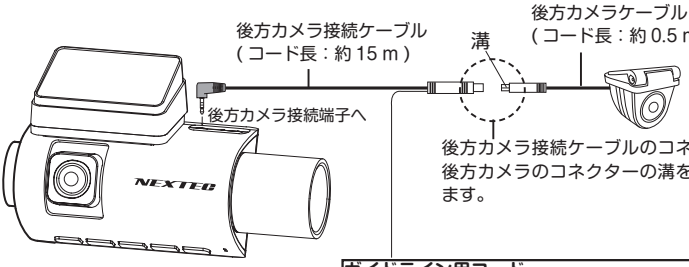
1. 後方カメラの取付ステー部に付属の両面テープを貼り、車内のリアガラスに貼る

2. 垂直方向の角度を調節後、ねじで固定する

3. 後方カメラ接続ケーブルのプラグを本体に接続し、コネクター部を後方カメラに接続する



※プライバシーガラスやスモークフィルムを貼ったリアガラスに取り付けした場合、本体画面に映る後方映像と記録映像が暗くなり鮮明な映像が得られない場合があります。



※接続ケーブルは、運転の支障にならないように配線処理をしてください。

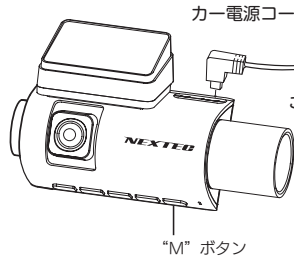
ガイドライン用コード
車両のバックランプ線の＋側に接続することにより、シフトレバーをリバースにするとモニターが後方カメラの映像に自動的に変わります。また、画面上にガイドラインが表示され、バックする際の目安になります。
※ P.15 参照

・接続しない場合は、テープ等で絶縁処理してください。

設置と接続

3. カー電源プラグの接続

1. カー電源コードのプラグを本体の電源端子に差し込む

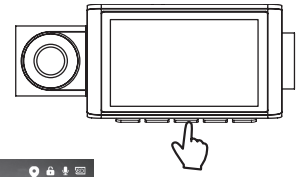


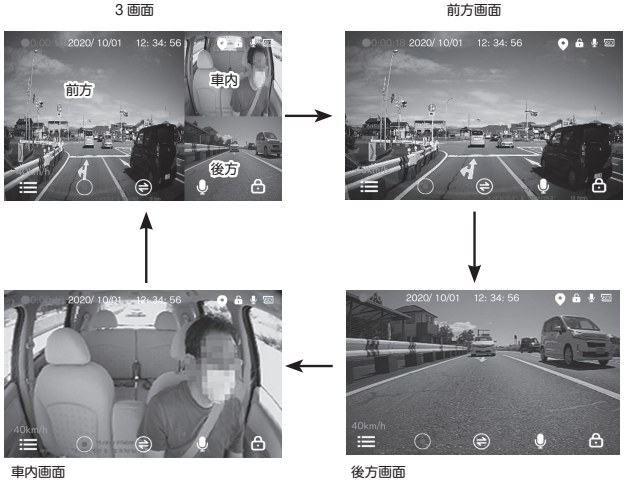
ご注意：電源プラグを抜き差しする場合は必ずイグニッションキーを OFF(ACC:OFF) にしてください。
また、プラグを差し込む時、“M”ボタンを押さないでください。

4. ボタン操作による前方カメラ / 車内カメラ / 後方カメラの表示切り替え

録画中 / 録画停止時にボタン操作でカメラの表示を切り替えることができます。

⏻ ボタンを押す度に切り替わります。





車内画面
※モニター画面では鏡像 (左右反転) ですが、再生映像は正像映像となります。

後方画面
※モニター画面では鏡像 (左右反転) ですが、再生映像は正像映像となります。

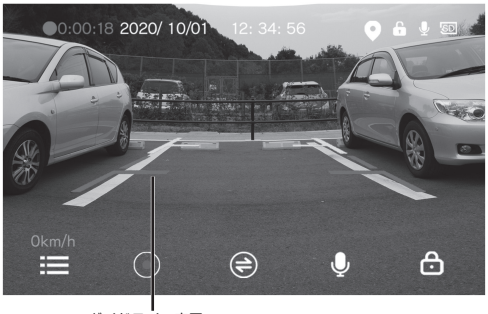
5. ガイドラインコードの接続

1. 車両のバックランプ線の＋側にガイドラインコードを接続する

2. ガイドライン表示の確認

⑴ 車両のシフトレバーをリバースにすると後方カメラの映像に自動的に変わります。

⑵ 同時に赤色、黄色、緑色のガイドラインが表示されます。



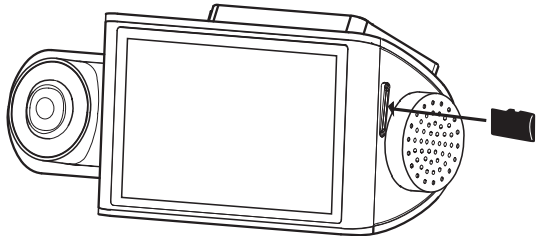
ガイドライン表示

ご注意：ガイドラインが画面の中心位置となるように後方カメラの取付位置を調整してください。

はじめにすること

1.SD カードを挿入する

SD カードのラベル面を LCD 側にして本体のカード挿入部に“カチッ”と音がするまで挿入します。必ずカードの向きに注意し無理に入れないでください。また、カードを抜く場合にも同様に“カチッ”と音がするまで押してから引き抜いてください。



ご注意
SD カードを取り外す場合、必ず本体の“ ⏻ ”ボタンを長押しして電源を OFF にしてから取り外してください。

重要！

⚠注意

■ SD カードを抜く場合は本機の電源が切れていること、または録画が停止していることを確認してから行ってください。SD カード破損の原因となることがあります。
■ SD カードは消耗品です。ドライブレコーダでご使用の場合耐用年数は 3 ヶ月から 1 年です。3 ヶ月から 1 年毎に新しい microSDHC カードと交換することをお勧めします。
■ SD カードは書き換え回数に上限があり、書き替えを繰り返すことで正常に保存ができなくなり、データを破損して読み込みもできなくなります。**1 ～ 2 週間を目安に本体またはパソコンでフォーマットを行ってください。**
■同梱以外の SD カードを使用する場合も必ずフォーマットをしてください。また、SD カードメーカーによっては性能を発揮できない場合がありますので、あらかじめテスト撮影を行ってください。(推奨 microSDHC カード：8 ～ 32GB の Class10 以上)
■小さなお子様のいらっしゃるご家庭では手の届かないところで保管してください。

2. 本体の電源を入れる

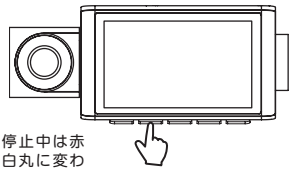
1. SD カードを挿入する

2. カー電源コードのプラグを本体と接続する (P.14 参照)

3. 車のエンジンをかける
自動的に電源が入り 録画が自動的に始まります。

録画マーク
赤で点滅中は録画中

※録画中は録画マークが赤で点滅します。画面“⊙”に配置されている本体下部▲ボタンを押すと録画が停止します。ただし、自動録画が ON の場合は、しばらくすると録画を開始します。(初期設定は ON P.37 参照)

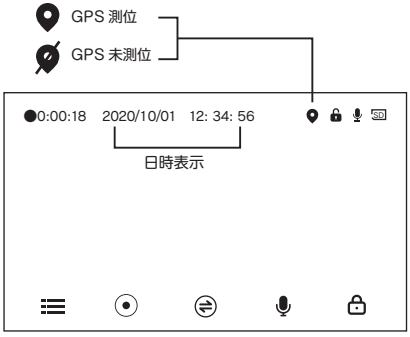


録画停止中は赤丸が白丸に変わります。

3. 日時を確認する

本製品は GPS を搭載しており、GPS を測位すると、自動的に日時を取得できます。一度、日時を取得すれば、GPS が測位していない状況でも日時は内蔵電池で保持されます。

1. GPS 測位していることを確認する



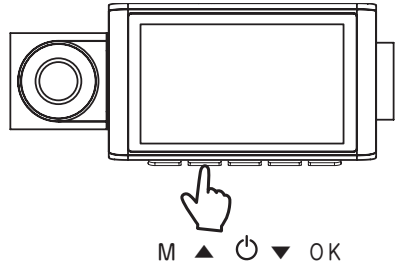
2. 日時を確認してください

はじめにすること

4.SD カードのフォーマット

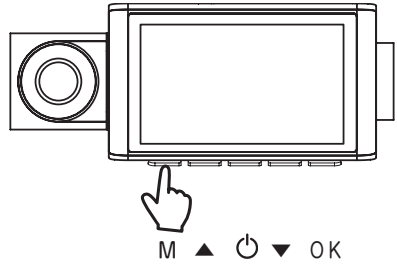
SD カードのフォーマットを行います。

1. ▲ ボタン を押して録画を停止する



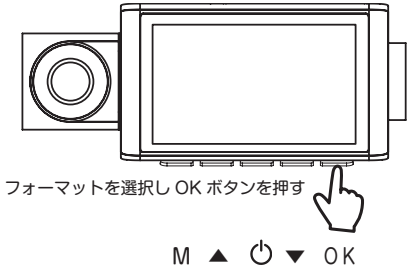
2. M ボタンを押してメニュー画面にする

メニュー画面



3. ▲ ▼ ボタンで “フォーマット” を選択し、 OK ボタンを押す

フォーマット画面が表示されます。



4. ▲ ▼ **ボタンで“はい”を選択し、**
OK **ボタンを押す**

“フォーマット中”が表示されます。

“フォーマット完了”が表示されメニュー画面に戻り、フォーマット完了になります。

5. M **ボタンを押して終了**

録画モードに戻り録画を開始します。

※ SD カードは定期的にフォーマットを行ってください。
フォーマットをしませんと、エラーの警告が出たり、正常に記録ができなくなります。(P.4 参照)

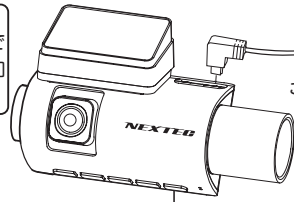
はじめにすること

5. パーキングモードの設定

※駐車中の録画を行う場合は、はじめに設定を行ってください。
※ P.8 の電源コードの接続をして電源を入れると、機能設定に「駐車監視時間」が追加されます。
駐車監視時間を設定しないとパーキングモードは機能しません。

1.ACC を OFF の状態で、電源プラグを本体に接続する

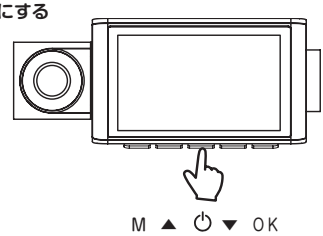
ご注意：
本体の電源は入りますが、この状態では機能設定に「駐車監視時間」は追加されていません。



“M” ボタン

ご注意：電源プラグを抜き差しする場合は必ずイグニッションキーを OFF(ACC:OFF) にしてください。
また、プラグを差し込む時、“M” ボタンを押さないでください。

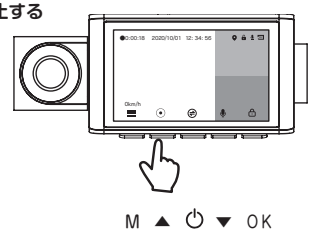
2. 本体の “⏻” ボタンを 3 秒以上長押しで一度、電源を OFF にする



3. エンジンをかける (ACC を ON)
※機能設定に「駐車監視時間」が追加されます。

4. 画面 “⊙” 位置の本体下部 ▲ ボタンを押し、録画を停止する

5. M ボタンを押してメニュー画面にする



メニュー画面

6. ▲ ▼ **ボタンで“機能設定”を選択し、OK ボタンを押す**

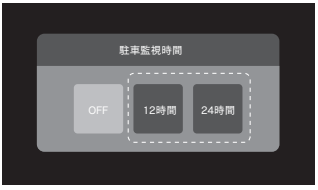
※機能設定画面が表示されます。

機能設定画面

7. ▲ ▼ **ボタンで“駐車監視時間”を選択し、OK ボタンを押す**

※駐車監視時間設定画面が表示されます。

駐車監視時間設定画面



8. ▲ ▼ **ボタンで“12 時間”または“24 時間”を選択し、OK ボタンを押す**

※設定が確定され“機能設定画面”に戻ります。

※駐車監視時間を設定するとパーキングモード時に設定時間が経過するまで、1 フレーム / 秒で録画されます。

9. M **ボタンを 2 回押して終了**

※録画モードに戻り録画を開始します。

ご注意

※駐車監視時間を設定しないとパーキングモードは機能しません。

※バッテリー電圧が 23.7V(11.8V) まで低下すると設定時間内であっても自動的に電源が OFF になります。

※駐車時のバッテリー電圧が 23.7V(11.8V) 以下の場合、パーキングモードは動作しません。電源が OFF となる場合は、使用できません。バッテリーが劣化している可能性があります。バッテリーチェックを行ってください。

※約 30 秒間操作が無い状態が続くと自動的に録画画面に移り記録を開始します。

撮る

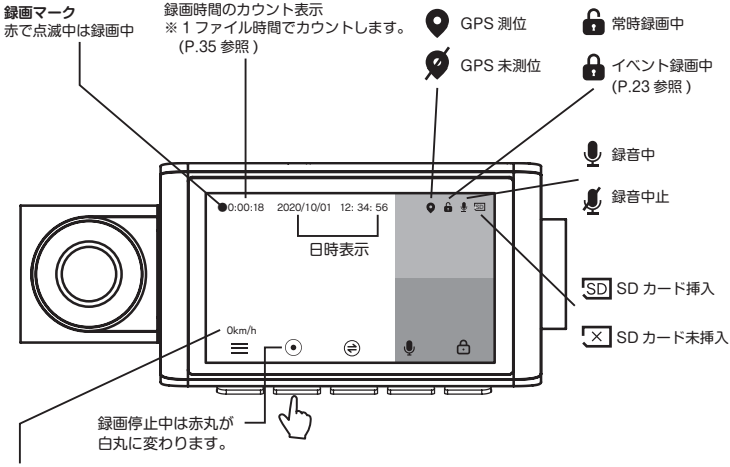
録画を開始する

SD カードを挿入し、車のエンジンをかける

外部からの電源が供給されると、自動的に電源が入り記録が開始されます。録画が開始されると、画面の録画マークが点滅を開始します。

※ SD カードを挿入しないで電源を入れると録画は開始しません。“SD カードが挿入されていません。”と表示されます。SD カードを挿入すると録画を開始します。

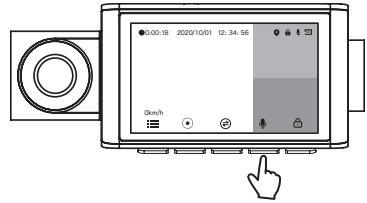
録画画面



※録画中は録画マークが赤で点滅します。画面“⊙”に配置されている本体下部▲ボタンを押すと録画が停止します。ただし、自動録画が ON の場合は、しばらくすると録画を開始します。(初期設定は ON　P.37 参照)

●音声録音の ON/OFF

録画中 / 録画停止時に ▼ ボタンを押すと、音声録音の ON/OFF ができます。但し、再起動した場合は各種設定 / 機能設定の“音声録音”の設定が有効になります。(P.35 音声録音参照)



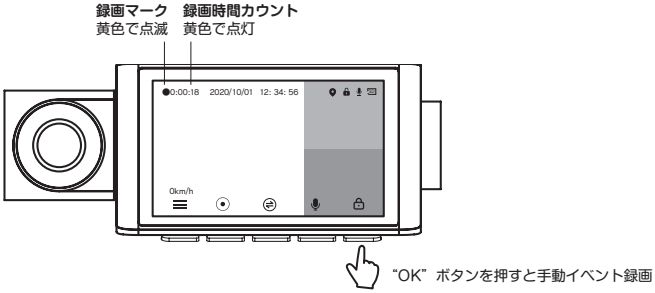
“▼”ボタンを押すと音声録音の ON/OFF

1. 常時録画

常時録画は SD カード容量の約 70%の保存領域内で録画繰り返し時間ごとにファイルを作成し、連続撮影をします。領域がいっぱいになると、古いファイルを削除して録画を繰り返していきます。
※録画繰り返し時間は変更することができます。(P.35.　1 ファイル時間参照　初期値は 1 分)

2. イベント録画 (G センサー / 手動)

イベント録画は SD カード容量の約 30%の保存領域内で G センサーが設定値以上の衝撃を検知したり、手動で “ ” 本体下部 OK ボタンを押すとイベント録画として保存します。領域がいっぱいになると、古いファイルを削除して録画を繰り返していきます。
※ G センサー感度設定は　P.36 参照
※イベント録画が開始されると“イベント録画開始。”が表示され録画マークが黄色で点滅します。
　イベント録画中に再度 OK ボタンを押すとイベント録画の解除になります。
※録画繰り返し時間は変更することができます。
　(P. 35　1 ファイル時間参照　初期値は 1 分)



3. 駐車録画 (録画の開始と終了)

1. エンジン停止する (ACC を OFF)

「タイムラプス録画モードに入ります」と表示され、約 10 秒後、画面が消えて駐車録画を開始します。

タイムラプス録画モードに入ります

※パーキングモード中の録画ファイルは常時録画フォルダへ保存されます。領域がいっぱいになると、古いファイルを削除して録画を繰り返していきます。
※ 1 分の録画ファイルは約 27.5 分間の記録となります。

2. パーキングモードの終了
エンジンをかける (ACC を ON)

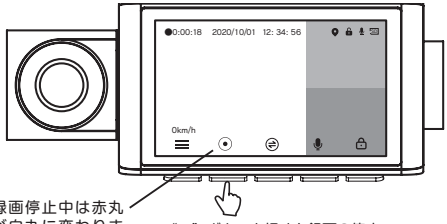
※ ACC をＯＮにすると液晶画面が表示され、常時録画を開始します。

撮る

録画を停止する (駐車録画以外)

1. 画面 “ ⊙ ” 位置の ▲ ボタンを押す

エンジンを切るか、“▲” ボタンを押すと録画が停止します。

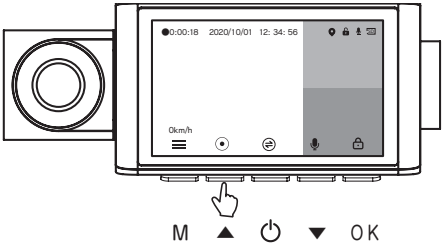


※本体下部 “▲” ボタン を押すと録画が停止します。ただし、自動録画が ON の場合は、しばらくすると 録画を開始します。
（初期設定は ON　P.37 参照）

見る

本体で見る

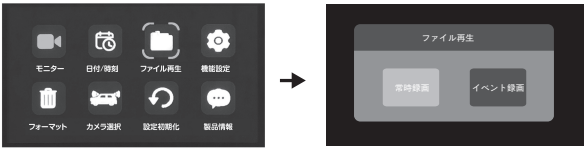
1. 画面 “ ⊙ ” 位置の本体下部 ▲ ボタンを押し、録画を停止する



2. M ボタンを押してメニュー画面にする

メニュー画面

3. ▲ ▼ ボタンで“ファイル再生”を選択し、 OK ボタンを押して“ファイル再生”画面にする

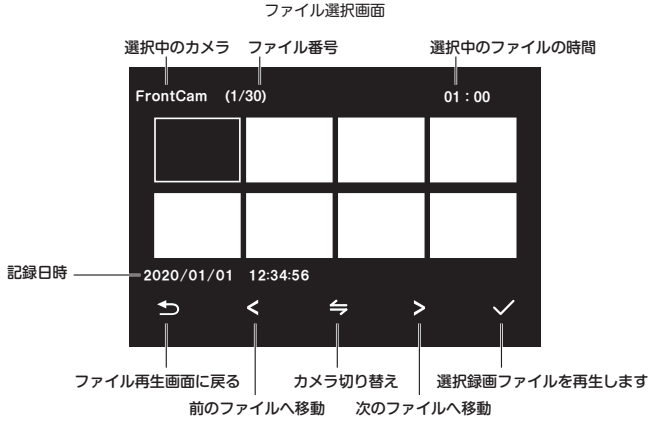


4. 再生する録画タイプを選択する

▲ ▼ ボタンで“常時録画”または“イベント録画”を選択します。

見る

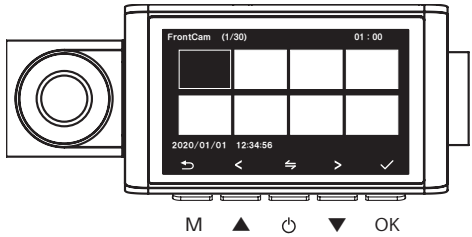
5. OK ボタンを押してファイル選択画面にする



6. 再生するファイルを選択する

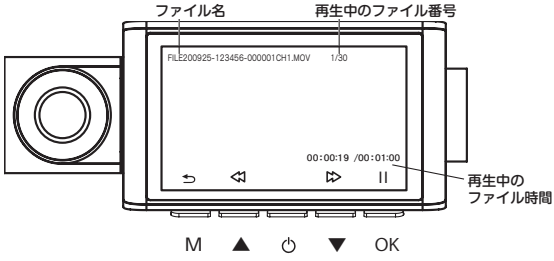
⑴ ▲ ▼ ボタンで ファイルを選択する。

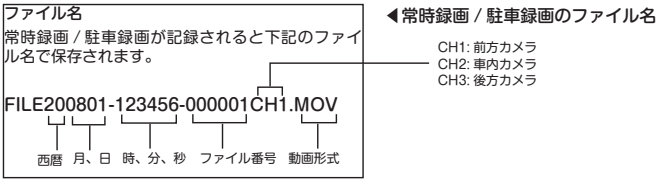
⑵カメラを選択する。
“ ⏻ ” を押す度に
FrontCam(前方カメラ)
→ RearCam(後方カメラ)
→ MidCam(車内カメラ)
に切り替わります。

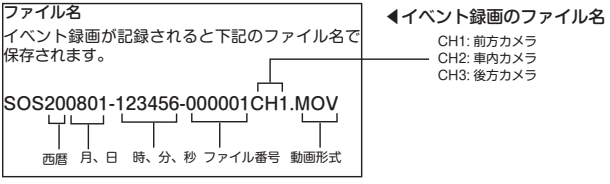


7. OK ボタンを押して再生を開始する

録画の再生を開始します。位置の本体下部“OK”ボタンを押すと一時停止します。
再度“OK”ボタンを押すとファイル再生が再開されます。
“▼”ボタンを押すごとに、2倍⇒4倍⇒8倍⇒2倍の速度で早送りします。
“▲”ボタンを押すごとに、2倍⇒4倍⇒8倍⇒2倍の速度で早戻りします。







8. 再生の終了

“M”ボタンを押すとファイル選択画面に戻ります。さらに 3 回“M”ボタンを押すと録画 モードに戻り録画を開始します。自動録画が ON の場合は無操作が約 30 秒続くと録画を 開始します。

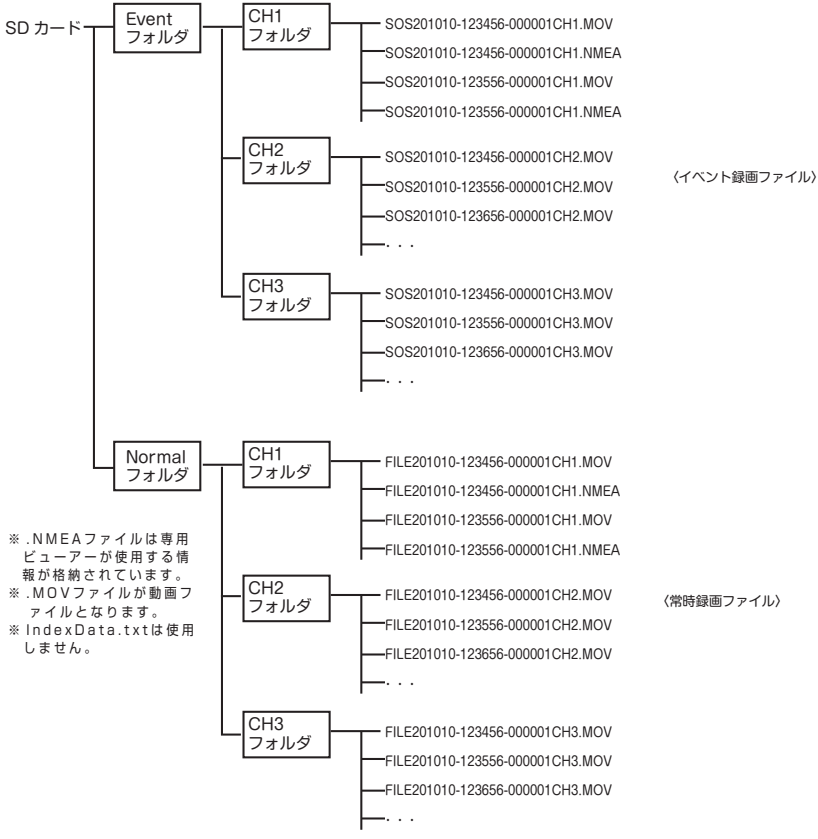
見る

パソコンで見る (SD カード)

・Windows 8.1/10（32/64bit）がインストールされたパソコン。
・Windows Media Player 等の H.264 動画再生ソフトがインストールされていること。
（再生ソフトに関するお問い合わせはお受けできません）
・USB2.0 インターフェースもしくは microSD/SDHC カードリーダを備えていること。
・それぞれの OS の推奨環境以上で動画再生でも十分な能力を持っていること。

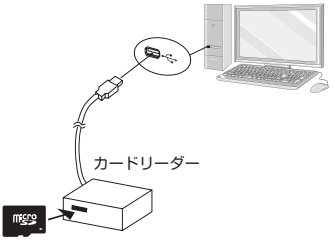
フォルダ構成

映像が記録されている SD カード内のフォルダとファイルの構成は下記のとおりです。



※ .NMEAファイルは専用ビューアーが使用する情報が格納されています。
※ .MOVファイルが動画ファイルとなります。
※ IndexData.txtは使用しません。

1. カードリーダーをパソコンに接続する



※ microSD/SDHC を直接接続できるパソコンの場合は、カードリーダーは必要ありません。

2. SD カードをカードリーダーに挿入する

3. “Event”“Normal” フォルダがあるリムーバブルディスクを開く

4. 再生したいフォルダを開く

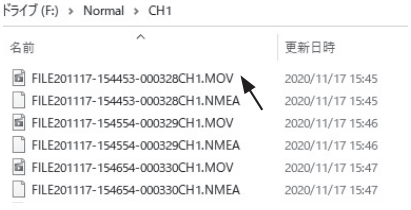
“CH1”“CH2”“CH3” フォルダが表示されます。

5. “再生したい CH を開く

録画ファイルが表示されます。

※ファイル拡張子 .MOV が録画ファイルです。

※ .MOV ファイルを開くと Windows Media Player 等の動画再生ソフトが立ち上がり、動画の再生が始まります。



見る

パソコンで見る (専用ビューアー画面で見る)

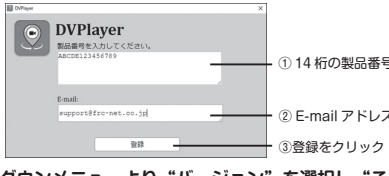
弊社ホームページより専用ビューアーソフトをインストールすることで、記録した映像をパソコンで再生することができます。
※ビューアー画面のデザイン等は変更する場合があります。
※ビューアーのインストール / 操作等はパソコンの基本的な知識が必要となります。
（パソコン操作等のお問い合わせは、お受けできません。）

1.DVPlayer.exe をダウンロードし、パソコンにインストールします。

2.DVPlayer を起動します。

3. ウィンドウ左上のプルダウンメニューより “バージョン” → “製品登録” を選択し、“製品番号を入力” をクリックします。

4. ドライブレコーダー本体のラベルに記載されている 14 桁の製品番号とお客様の E-mail アドレスを入力し、“登録” をクリックします。



5. 再度プルダウンメニューより “バージョン” を選択し “このバージョンは登録されました。” の表示が出ていることを確認します。以上で DVPlayer を使用可能です。

※登録可能なパソコンは 1 製品番号あたり 1 つのパソコンです。他のパソコンで使用する場合、“登録削除” をクリックして製品登録削除を実行後、再度、他のパソコンで製品登録してください。

6. プルダウンメニューより “設定” → “再生モード” → “3 画面” を選択します。

7. プルダウンメニューより “ファイル” → “開く” を選択し、再生するファイルを選択します。ファイルを選択すると同一フォルダ内のファイルリストが読み込まれた後、選択したファイルから再生を開始します。

■ビューアーの説明

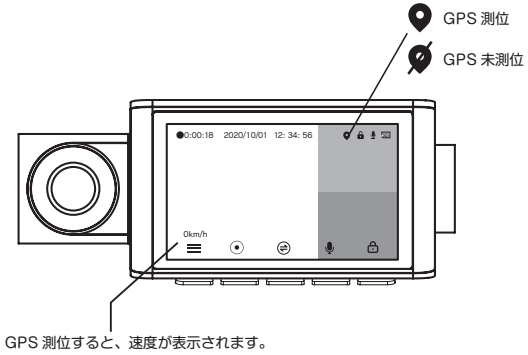
NO.	表示名	表示説明
①	プルダウンメニュー	“ファイル” “設定” “バージョン”のプルダウンメニューよりファイルを開く、各種設定を行うことができます。
②	表示エリア A	選択した前方カメラ録画ファイルの映像を表示します。
③	時間スライダ	ドラッグして撮影時間内を移動できます。
④	操作ボタン	⏮ プレイリストの前のファイルを再生します。
		◀◀ 10秒前を再生します。
		▶ 再生/一時停止ボタン。▶を押すと再生。❚❚を押すと一時停止。
		▶▶ 10秒後を再生します。
		⏭ プレイリストの次のファイルを再生します。
⑤	走行速度表示	GPSでの走行速度を表示します。 ※GPSデータが無い場合は変化しません。
⑥	緯度経度表示	緯度・経度を表示します。※GPSデータが無い場合は変化しません。
⑦	選択ファイル走行情報表示	選択した録画ファイル中の最高速度、平均速度、走行距離を表示します。 ※GPSデータが無い場合は変化しません。
⑧	G センサーグラフ	G センサーのデータを X 軸、Y 軸、Z 軸でグラフ表示します。
⑨	機能ボタン	スナップショットの保存。ファイルの再読込み。表示サイズの変更。再生音量の変更ができます。
⑩	プレイリスト走行情報表示	プレイリスト中の最高速度、平均速度、走行距離を表示します。 ※GPSデータが無い場合は変化しません。
⑪	プレイリスト	読み込んだファイルが表示されます。
⑫	地図表示	地図上に自車位置が表示されます。 ※GPSデータが無い場合は変化しません。
⑬	表示エリア B	選択した後方カメラ録画ファイルの映像を表示します。
⑭	表示エリア C	選択した車内カメラ録画ファイルの映像を表示します。

GPS 機能を使う

本製品は GPS 機能を有しており、日時合わせを自動的に行ったり、速度も表示できます。また、“速度超過警報”“専用ビューアー画面”の機能が使用できます。

速度超過警報

⑴ 各種設定で“速度アラーム”の設定をします。(P.36 参照)
⑵ GPS 測位していることを確認します。
⑶ 速度が設定値を超えるとアラーム音で警報をします。

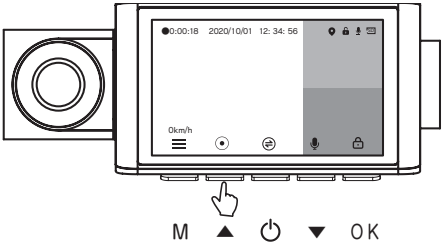


※ GPS を測位しているとき機能します。GPS 測位していない場合は機能しません
※ 周辺部に金属やゴムなどの障害物がこないようにしてください。
※ ビルの谷間、高速道路の高架下、森林等は GPS が受信しにくい場合があります。
※ GPS ユニットを抜き差しする場合は必ず電源を切ってください。

各種設定

設定手順

1. 画面“ ⊙ ” 位置の本体下部 ▲ ボタンを押し、録画を停止する



2. M ボタンを押してメニュー画面にする

メニュー画面

3. ▲ ▼ ボタンで設定したい項目を選択し、OK ボタンを押す

※メニュー画面の“モニター”を選択し、OK ボタンを押すと録画画面に戻り録画を開始します。
※メニュー画面で M ボタンを押すことでも録画画面に戻り録画を開始することができます。
※約 30 秒間操作が無い状態が続くと自動的に録画画面に移り記録を開始します。

各種設定

メニュー項目

1. モニター　：録画画面に戻ります。
2. 日付 / 時刻　：日付 / 時刻を設定します。本製品は GPS を搭載しており、GPS を測位すると、自動的に日時を取得できます。
3. ファイル再生：記録ファイル選択画面へ移動します。(P.25 参照)
4. 機能設定　：各種機能設定ができます。(P.35 機能設定項目参照)
5. フォーマット：microSD カードをフォーマットする。SD カードの初期化を行います。SD カードを初期化すると、記録したデータは全て消去されます。必要なデータは初期化する前にあらかじめパソコンなどに保存しておいてください。(P. 18 参照)
6. カメラ選択　：記録するカメラを選択することができます。初期値（前方＋車内＋後方）設定変更後、自動的に再起動します。(P.38 参照)
7. 設定初期化　：設定を工場出荷状態に戻します。出荷状態に戻すときにはメニュー選択後「実行」を選択してください。(実行 / キャンセル)
8. 製品情報　：バージョンを表示します。

機能設定項目

解像度の設定

録画サイズ

録画する画像の解像度を設定します。

解像度を上げると録画時間が短くなり、下げると長くなります。

FHD (1080P)	初期設定
HD (720P)	

※後方カメラと車内カメラは 1080P に変更できません。

録画繰り返し時間を設定する

1 ファイル時間

一つの録画ファイルの時間を設定します。SD カードの容量がいっぱいになると、古いファイルから消されて新しいファイルが保存されます。

1 分	初期設定
2 分	
3 分	

映像と同時に周囲の音を録音

音声録音

映像とともに音声や車の中の音を同時に記録するかどうか選択できます。

ON	音声を記録する（初期設定）
OFF	音声を記録しない

※録画中 / 録画停止時に “▼” ボタンを押すと、音声録音の ON/OFF ができます。但し、再起動した場合は本設定が有効になります。
(P.22 参照)

音量の調節

本体音量

本体のスピーカー音量を設定する

0 ～ 10　初期設定：5

操作音の ON/OFF

操作音

操作時に操作音を鳴らすかどうかを選択できます。

ON	操作音を鳴らす（初期設定）
OFF	操作音を鳴らさない

液晶画面を消す (スクリーンセーバー)

画面自動オフ

一定時間経過すると LCD 表示を消します。

OFF	常に表示 （初期設定 ）
1 分	
3 分	

※液晶画面が消えても録画等の動作は行っています。

駐車監視時間の設定

駐車監視時間

パーキングモードの監視時間を設定します。

OFF	（初期設定 ）
12 時間	
24 時間	

各種設定

衝撃感度

G センサー感度

Gセンサーは、事故や衝突など一定以上の衝撃が加わるとイベント録画として保存されます。Gセンサーの感度は３段階調整できます。

※ SD カードの容量の約 30%を超えると古いファイルから上書き保存 されます。

※衝撃の度合いや方向によっては G センサー設定値より一定以下の場合、動作しない場合があります。

高	
中	（初期設定）
低	
OFF	G センサーを使用しない

言語を選択

言語

メニューや警告などの表示言語を選択できます。

選択可能な言語は日本語（初期設定）と English(英語) と中国語です。

日時 / 位置情報 / 速度情報を記録

タイムスタンプ

録画ファイルに日時 / 位置情報 / 速度情報を記録するかどうかを選択できます。

あり	表示する（初期設定）
なし	表示しない

タイムゾーン設定

タイムゾーンの選択

使用地域のグリニッジ標準時からの時差を設定します。日本国内は＋ 09：00 です。

設定範囲：-12：00 ～＋ 14：00

初期値：+09：00

蛍光灯のチラツキを抑える

電源周波数

蛍光灯下でのチラツキを抑えるための設定です。東日本では５０Hz、西日本では６０Hz を選択します。

50Hz	東日本地域（初期設定）
60Hz	西日本地域

GPS 情報

弊社検査用。使用しません。

速度表示単位の選択

速度単位

キロメートル毎時 (初期設定)、マイル毎時を選択します。

KM/H	キロメートル毎時表示（初期設定）
MPH	マイル毎時表示

設定速度を超えると警報する

速度アラーム

OFF(初期設定)

50km/h ～ 200km/h を選択してください。

※ 120km/h 以上を表示させるには、110km/h で“▼”ボタンを押してください。

SD カードの中の記録ファイルを削除する

データ削除

1. 機能設定メニューで“データ削除”を選択し、OK ボタンを押すとデータ削除画面が表示されます。

2. データ削除するフォルダ選択します。
“常時録画”または“イベント録画”を ▲ ▼ ボタンで選択し、OK ボタンを押すと“選択削除”と“すべて削除”の選択画面が表示されます。

3. ファイルの削除
● “選択削除”の場合

▲ ▼ ボタンで“選択削除”を選択し、OK ボタンを押すとファイル選択画面が表示されます。

削除するファイルを ▲ ▼ ボタンで選択し、OK ボタンを押すと“選択削除”画面が表示されます。

“はい”を ▲ ▼ ボタンで選択し、OK ボタンを押すとファイル が削除され、ファイル選択画面に戻ります。

※ファイルを削除すると、前方カメラ、車内カメラ、後方カメラのファイルが同時に削除されます。

M ボタンを押すと機能設定メニューに戻ります。

● “すべて削除”の場合

▲ ▼ ボタンで“すべて削除”を選択し、OK ボタンを押すと“すべて削除”の画面が表示されます。

“はい”を ▲ ▼ ボタンで選択し、OK ボタンを押すと、すべてのファイルが削除され、フォルダ選択画面に戻ります。

M ボタンを 2 回押すと機能設定メニューに戻ります。

撮り忘れを防止する

自動録画

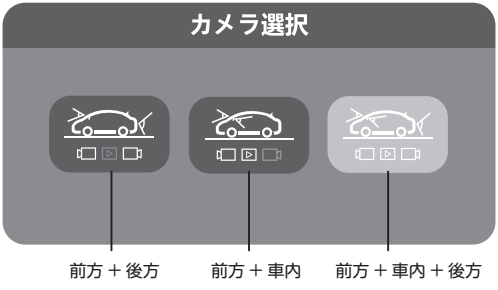
ON に設定すると、約 30 秒間無操作が続くと自動的に録画が開始されます。

ON	自動的に録画に戻る（初期設定）
OFF	自動的に録画に戻らない

各種設定

カメラ選択

記録するカメラを選択することができます。初期値 (前方 ＋ 車内 ＋ 後方)



●設定を変更する場合

▲ ▼ ボタンでカメラを選択し、OK ボタンを押すと設定画面が表示されます。

“はい”を ▲ ▼ ボタンで選択し、OK ボタンを押すと自動的に再起動し、設定が確定し、録画を開始します。

その他

記録時間の目安

SD カード容量	前方カメラ解像度	常時録画	イベント録画 (衝撃 / 手動)	動画合計	駐車録画 (1fps)
8GB	FHD(1920 × 1080)	約 40 分	約 17 分	約 57 分	約 18 時間
16GB	FHD(1920 × 1080)	約 1 時間 20 分	約 35 分	約 1 時間 55 分	約 36 時間
32GB	FHD(1920 × 1080)	約 2 時間 40 分	約 1 時間 10 分	約 3 時間 50 分	約 72 時間
8GB	HD(1280 × 720)	約 1 時間	約 25 分	約 1 時間 25 分	約 27 時間
16GB	HD(1280 × 720)	約 2 時間	約 50 分	約 2 時間 50 分	約 55 時間
32GB	HD(1280 × 720)	約 4 時間	約 1 時間 40 分	約 5 時間 40 分	約 110 時間

※記録時間は目安であり、ご使用の環境、映像の内容等によって大きく変わります。
※ SD カードの容量がいっぱいになると、古いファイルを削除して録画を繰り返していきます。
※タイムラプス録画：駐車監視モード中、1 秒に 1 枚の静止画を撮影し、撮影するコマ数を少なくし一定間隔で撮影された画像をつなげ合わすことで早送り再生したような動画を再生できる機能です。

本体ソフトウェアのアップデート

本体のソフトウェアがバージョンアップされた場合、弊社ホームページに掲載します。ソフトをダウンロードすることで最新のバージョンにすることができます。
※詳細はホームページを参照ください。

故障かな？と思ったら

SD カードを認識しない
記録が停止する

- 「SD カードをフォーマットしてください」と画面表示が出る。
  ⇒カードを本体に挿入してください。
  ⇒ SD カードをフォーマットしてください。(P.18)
- microSD カードは消耗品です。一定期間が過ぎるとメモリーセクターの一部が損傷されて正常な記録ができない可能性があります。microSD カードによる不具合が発生した場合は、新しい microSD カードと交換してください。市販の microSD カードは、用途により仕様が異なるため、動作を一切保証しておりません。弊社営業経由にて動作確認が取れている microSD カードをお買い求めください。
- 64GB 以上の microSD カードは使用しないでください。

電源が入らない
画面が真っ黒
電源が落ちる
再起動を繰り返す

- “M” ボタンを押しながら電源を入れた。
  ⇒プラグを抜き 5 分経過後、“M” ボタンを押さないよう電源プラグを差してください。
- カー電源コードの接続配線を確認してください。
- SD カードをフォーマットしてください。(P.18)
- SD カードを抜いて電源を入れる
  ⇒改善した場合、SD カードを交換してください。

電波干渉によってナビの TV 画面が 1 セグに切り替わる。もしくは映らない。

配線の取り回しをご確認ください。
- TV のアンテナコードと本機のケーブルをまとめている。
  ⇒配線は別にまとめてください。
- 配線を含む本機とフィルムとアンテナの位置が近い。
  ⇒離して取付をお願いします。
- ナビ本体や他の機器に本機のケーブルをまとめている。
  ⇒離して取付をお願いします。

画面にドット欠損(輝点・滅点) がある	●液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られていますが、画面の一部にごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合があります。
日時表示が違う	●内蔵のコインバッテリーが放電してしまっている。 ⇒本体に電源が入った状態でしばらく充電してから GPS 測位後、日時を確認してください。充電しても初期値に戻ってしまう場合は内蔵のコインバッテリーの寿命ですので交換が必要になります。
後方カメラが映らない	●接続コードがしっかり接続されていない。 ⇒接続コードを確認してください。 ●表示が後方カメラ以外になっている。 ⇒切り替えボタンで後方カメラに切り替えてください。(P.14)
操作を受け付けない	● SD カードが壊れている可能性があります。 ⇒ SD カードを抜いて動作をする場合には、SD カードが壊れている可能性があります。
それでも動かないときは	〒 194-0037 東京都町田市木曽西 2-3-8 株式会社 エフ・アール・シー サービス課 TEL：042-793-7746 土日祝日及び弊社休業日を除く 【10:00 ～ 12:00 13:00 ～ 17:00】

主な仕様

外形寸法　：本体　約 120（幅）× 49(高さ）× 41(奥行）mm
　防水後方カメラ　約 31(幅) × 35(高さ) × 30(奥行)mm
　取付けステー装着時高さ　約 74mm(窓ガラス 45°想定)　　突起部除く
質量　：本体　約 122g（microSDHC カード含む）
　防水後方カメラ (防塵・防水 IP67 相当)　約 36g(コード含む)
記録媒体　：microSDHC カード（32GB 付属）　8 ～ 32GB 対応（Class10 以上）
撮像素子　：前方カメラ　200 万画素 CMOS　車内カメラ　100 万画素 CMOS
　後方カメラ　100 万画素 CMOS
レンズ画角　：前方カメラ　水平 約 109 度　垂直 58 度（約 130 度対角）
　車内カメラ　水平 約 120 度　垂直 63 度（約 135 度対角)
　後方カメラ　水平 約 115 度　垂直 60 度（約 128 度対角)
最大記録画角　：前方カメラ　水平 約 106 度　垂直 57 度（約 125 度対角）
　車内カメラ　水平 約 115 度　垂直 60 度（約 130 度対角）
　後方カメラ　水平 約 100 度　垂直 55 度（約 115 度対角）
記録解像度　：1920 × 1080(Full HD)　1280 × 720(HD) ※車内 / 後方カメラは HD 固定
画像補正　：WDR(前方 / 車内 / 後方)
赤外線照射距離　：約 5 m (車内カメラのみ)
GPS　：搭載
G センサー　：有り（OFF/ 高 / 中 / 低)3 段階調整
記録方式　：常時録画、イベント録画 (G センサー、手動)
　駐車録画 (タイムラプス録画)
録画ファイル構成：1 分 /2 分 /3 分
画面サイズ　：3 型液晶モニター
音声　：ON/OFF 可能
フレームレート　：前方カメラ 27.5fps　車内 / 後方カメラ 25fps
映像ファイル形式：動画　MOV(H.264)
記録映像再生方式：Windows Media Player 等の H.264 再生ソフトまたは専用動画再生ソフト
電源電圧　：DC12/24V(本体 DC5V)
バックアップ電源：スーパーキャパシタ方式 / ボタン充電池 (時計用)
消費電流　：約 400mA(DC12V 時)、約 200mA(DC24V 時)
　駐車録画　約 350 mA
動作温度範囲　：-10 ～ +60℃
商品保証期間　：1 年間 (microSDHC カード等消耗品除く)
言語　：日本語 / 英語 / 中国語

●商品の仕様は改良のため予告なく変更する場合があります。

保証規定

本製品は、弊社において厳重な品質管理のもとに検査され合格したものですが、万一ご購入後 1 年以内に製造上の不備に起因する故障が生じた場合には、弊社が責任をもって無償修理いたします。
なお、次に記載した場合の故障については、保証期間内であっても有償修理となります。

①使用上の誤り、不当な改造や修理などによる故障および損傷。
②ご購入後の輸送、移動、落下などによる故障および損傷。
③火災、地震、水害、異常電圧、指定外の電源、電圧、周波数使用および
その他の天変地異などによる故障および損傷。
④本保証書のご提示がない場合。
⑤本保証書の所定事項が未記入、あるいは字句が書き換えられた場合。
※本保証書は日本国内においてのみ有効です。

●使用上修理を依頼されるときはまず、配線の状態および操作方法に間違いがないかどうかよく調べていただき、それでも異常がある時は修理依頼してください。
●その際は問題が発生したときの症状、表示されたメッセージ、症状の再現方法についてできるだけ詳しくお書きください。
●必要なファイルは、必ずお客様にてバックアップをお取りください。お預かりしたデータの保証はいかなる場合でもできません。
●保証は不具合が発生した製品を販売店にお持込いただくか、弊社宛てに送付していただき、修理もしくは代品との交換によるセンドバック方式となります。
●出張修理は行っておりません。
●保証の範囲は商品のみの保証となり、取り付けや取り付けにかかる費用の保証や商品を使用する事により発生した商品以外への損害についての保証は一切いたしませんので、あらかじめご了承ください。
●修理期間中の代替機の貸し出しは行っておりません。

※あらかじめご承知いただきたいこと
・修理の時、一部代替品を使わせていただくことや修理品に変わって同等品と交換させていただくことがあります。
・出張による修理は一切致しませんので、あらかじめご了承ください。
・本取扱説明書の内容は、機能改善のため予告なく変更する場合があります。
※ SD カード、両面テープは消耗品につき初期故障 (使用開始後 10 日間) のみ保証します。

【サポート問い合わせ先】
株式会社 エフ・アール・シー サービス課
TEL：042-793-7746 土日・祝日及び弊社休業日を除く【10:00 ～ 12:00 13:00 ～ 17:00】

品質保証書

本製品は、弊社において厳重な品質管理のもとに検査され、それに合格したものです。
万一、ご購入後 1 年以内に製造上の不備に起因する故障が生じた場合には、弊社が責任をもって無償修理いたします。
修理の際には、本製品をご購入いただいた販売店に、必ず本保証書をご持参の上ご依頼ください。本保証書のご提示のない場合には全額有償となりますので、本保証書は大切に保存してください。

■保証期間中は：
保証書を添えてお買い求めの販売店までご持参いただくか、弊社宛てに症状をお書き添えの上送付願います。保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

■保証期間が過ぎているときは：
お買い求めの販売店、または弊社サービス課にご相談ください。
修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

商 品 名	3カメラ・ドライブレコーダー **NX-DR303DRT**		
保証期間	1 年間 （消耗品除く）	購入年月日	年　月　日
お 客 様	ご住所 TEL.		
	お名前		
販 売 店	住所 店名 ㊞		

本保証書は再発行しませんので大切に保管してください。

F.R.C. CO.,LTD.
株式会社エフ・アール・シー
〒194-0037 東京都町田市木曽西 2-3-8
URL https://www.frc-net.co.jp

4-273-001